

1 平成30年度霧島市土地開発公社事業報告書

(1) 総括事項

霧島市土地開発公社は、平成26年3月に設立団体である霧島市により策定された、「霧島市土地開発公社解散プラン」に基づき、平成30年度末に解散予定とされていましたが、平成30年6月議会において、解散時期については再考するとの市の方針が示され、解散時期は延伸されました。このことにより、平成30年度は、主に公社分譲地の販売PR等の促進や、長期保有土地の縮減を図るなど、残余財産の処分に係る取り組みを行ってまいりました。

平成30年度における主な取得と処分は次のとおりです。

1 公有地事業

(1) 公有用地 (P3)

(取得) なし

(処分) なし

(2) 特定土地 (P4)

(取得) なし

(処分) コミュニティー広場用地 1,128.00 m² 2筆 570,000円 個人へ

2 土地造成事業 (P5…完成土地等、P6…開発中土地)

(取得) なし

(処分) 塚脇特定住宅地造成事業用地 405.84 m² 1筆 1,883,098円 個人へ

牧之原高原分譲宅地造成取得事業用地 466.20 m² 2筆 3,825,108円 個人へ

これらの明細につきましては、P3～6の用地別明細表のとおりでございます。

平成30年度期末の保有地全体面積は345,514.13m²、残り20用地で、期末残高金額は409,300,864円となります。

次に損益の状況といたしまして、P12からの損益計算書により、事業収益6,278,206円と事業原価6,272,206円の差額6,000円に販売費及び一般管理費313,992,216円を減額しますと、事業損失31,393,216円となり、さらに事業外収益521,365円及び、事業外費用98,826円を加減しますと、30,970,677円の経常損失となります。これに特別利益及び特別損失を加減しますが、本年度は特別利益がありませんので、特別損失55,921,380円のみを減額し、86,892,057円の当期純損失が、生じることとなりました。この損失は、前期繰越準備金608,110,041円を減額して整理いたしましたところでございます。

また、資産及び負債の状況につきましては、P14からの貸借対照表により、資産合計

580,118,484円に対し負債合計48,900,500円で差引き純財産（資本合計）は531,217,984円でございます。

借入金償還金につきましては、平成29年度で完済しており、今年度も新たな借入れは行っていないため、0円となっております。

以上で、平成30年度霧島市土地開発公社業務の概況を申し上げ、詳細につきましては、次のとおり報告いたします。